

主催：医療の質・安全学会ネットワーク委員会 後援：ニプロ(株)



医療安全管理者 ネットワーク会議 in 滋賀

患者安全を担保した手順の導入と実践

～ やるべきこと、すなわち手順をきっちり実践する ～

医療の質・安全学会ネットワーク委員会が主催する「第 20 回の医療安全管理者ネットワーク会議 in 滋賀」を、ニプロ KK の南草津の研修所をお借りして開催します。医療安全管理者ネットワーク会議は、2 年前から、医療現場で繰り返し生じている事故を防止するために、いずれの医療機関でも行うべき医療安全行動の手順書について検討しています。20 回のネットワーク会議においても引き続き、この課題を検討します。学術集会でも取り上げてもらっていて、手順書として出すことも考えています。多くの皆様のご出席をお待ちしています。



ネットワーク担当理事：嶋森 好子

開催日時：平成 28 年 9 月 4 日(日) 12:45-17:00 (開場:11:30)

※参加者全員にランチ無料提供あり 11:30 よりお渡しします。

開催場所：医療研修施設「ニプロ iMEP(アイメップ)」

〒525-055 滋賀県草津市野路町 3023 番地・tel 077-564-0610)

対象者：医療安全管理者、医療安全管理を担う者

定員：100 名 (定員になり次第締め切り) 参加登録完了メールを必ず印刷してお持ちください、参加受付用紙となります

参加登録：医療安全管理者ネットワークホームページ (<https://www.qsh.jp/anzen/>)

参加費：医療の質・安全学会会員(5,000 円)、非会員(8,000 円)

参加費振込先：東京三菱 UFJ 銀行 本郷支店(店番 351) 普通 0212775

一般社団法人医療の質・安全学会研修会 シヤ)イリヨウノシツアンゼンガツカイケンシユウカイ

※一度納入された参加費は理由の如何を問わず返却いたしません。

備考：参加登録完了メールを必ず印刷してお持ちください、参加受付用紙となります。

主催：医療の質・安全学会ネットワーク委員会 後援：ニプロ(株)

1. 医療安全管理者ネットワーク会議の患者安全を担保した手順の検討・作成の経緯とグループワークの説明

1) 開会挨拶及び今回のテーマと目指していること (12:45~12:55) : ネットワーク担当理事 嶋森 好子

2) 手順の検討・作成の経緯とグループワークの説明 (12:55~13:55) : ネットワーク委員会委員

- | | |
|------------------------|------------------------|
| (1) 手術安全チェックリストの運用手順 | 名古屋大学医学部附属病院医療の質・安全管理部 |
| (2) 患者確認の方針・手順 | 病院助教 寺井 美峰子 |
| (3) 輸血の患者誤認予防の手順作成 | 自治医科大学属さいたま医療センター |
| (4) 病理生検検体の患者誤認予防の手順作成 | 医療安全・渉外部 亀森 康子 |

2. グループワーク (14:00-16:50)

- (1) 手術安全チェックリストの運用手順を検討しよう
※ぜひ、手術室で勤務する看護師の方も一緒にご参加ください
- (2) 輸血の患者誤認予防のため手順とすべきことを検討しよう
※輸血部からの血液製剤出庫後の手順を検討します
- (3) 病理生検検体の患者誤認予防のため手順とすべきことを検討しよう
※検体の採取から検査部への提出までの手順を検討します(手術室以外での採取)

※ 参加登録申込画面にて
参加希望 GW を選択して下さい

★ 多職種の皆様でのご参加をお願い致します

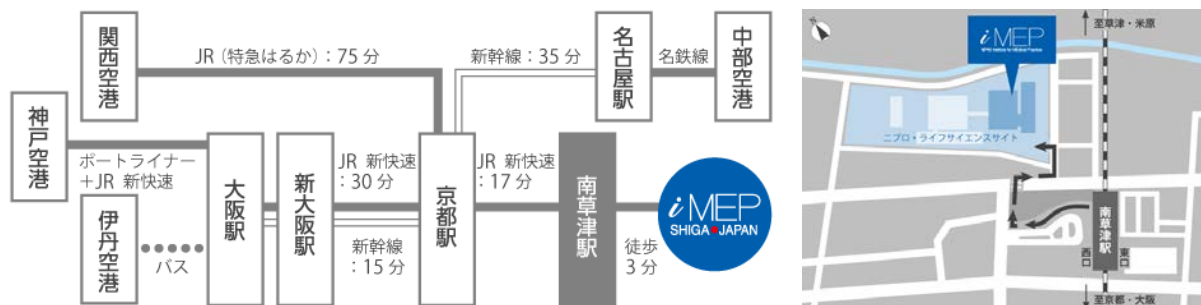
医療安全管理者、輸血や生検検査に関与している医師、看護師、検査技師、手術室勤務の看護師

★ 自施設の下記に関する手順書、マニュアル書をご持参ください

患者確認、手術時安全チェックリスト運用、輸血投与、生検検体の誤認防止対策

3. 閉会の挨拶 (16:50~17:00) 受講証明書をお渡しします。

アクセス：



緊急連絡先：080-8718-0834 , poaroandmomo@gmail.com

問い合わせ先：医療の質・安全学会ネットワーク委員会委員 古田 康之

名古屋大学医学部附属病院 医療の質・安全管理部

yasu.furuta@med.nagoya-u.ac.jp